

2023年6月8日

各位

株式会社北洋銀行

池下産業株式会社様の『SDGsコンサルティング』のご利用について

北洋銀行(取締役頭取 安田 光春)は、お客さまのSDGs経営への取り組みを支援するため「SDGsコンサルティング」を提供しています。今般、池下産業株式会社様(広尾郡広尾町、代表取締役 池下 藤一郎様)が本サポートを利用し『サステナビリティ経営方針』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

当行は今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

会社概要

会社名	池下産業株式会社
所在地	広尾郡広尾町字茂寄936番地1
代表者	代表取締役 池下 藤一郎
業種	フィッシュミール・魚油製造販売等

※サステナビリティ経営方針の詳細は別紙をご参照ください。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

池下産業 株式会社

サステナビリティ経営方針

当社は、「経営理念」と「経営ビジョン」に基づく企業活動を通じて、当社を支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当社の中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

経営理念

「価値創造経営」

私たちは、新しい価値の創造に向かって、情熱を持って挑戦し続けます。

「人間尊重経営」

私たちは、お客様や社員をはじめ、事業に係るすべての人たちを大切にします。

「社会貢献経営」

私たちは、社会の問題解決の一助となり、持続的な発展を通して社会に貢献します。



事業に影響を与える環境変化

環境

- 地球温暖化による水資源状態の変化
- 自然保護への規制強化
- 脱炭素に向けた社会変化
- 循環経済の加速

社会

- 人口減少・少子高齢化
- 価値観やライフスタイルの変化
- 働き方改革の進展
- 地方創生の貢献に対する重要度の高まり

経済ガバナンス

- 気候変動によるサプライチェーンへの影響化
- 新型コロナによる産業構造の変化
- 企業の社会的責任に対する重要度の高まり

重要課題（マテリアリティ）

取組内容

主なステークホルダー

1 安心・安全な食の提供

- ① 養殖業向け高品質飼料の安定供給
- ② 人々の健康価値向上に資する製品の提供
- ③ 製造品質の維持・向上のためのデータ蓄積・分析体制の強化

お客さま
地域社会

2 持続可能な水産資源の調達

- ① MSC認証の取得

地球環境
協力業者

3 環境経営の実施

- ① 廃棄物の再利用するための体制の維持

地球環境

4 ダイバーシティの推進

- ① 働きがい向上のための福利厚生の充実
- ② 柔軟な労務環境の提供
- ③ 多様な人材の受け入れ

地域社会
従業員

サステナビリティ経営への取組み



池下産業 株式会社

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

また、環境問題、労働負荷や人権問題など企業を取り巻く社会課題のうち、当社が将来にわたって事業活動を継続するために重要な課題をマテリアリティと定め、重点テーマを設定しております。重点テーマの取組みを通じて、経営のリスクを回避し、イノベーション創出の機会を捉えてまいります。

SDGs達成とマテリアリティへの取組み

環境

当社は、地球環境問題を経営上の重要な課題の一つとして認識し、持続可能な社会の実現に向け、事業活動において環境保全および水産資源の保護、環境汚染の予防に取り組めます。

【SDGs達成に向けた具体的な取組み】

- ・製造工場内照明のLED化
- ・TAC管理（資源管理）された魚を買付け飼料を製造
- ・水産残渣や町内飼料工場の廃棄物を収集し有機肥料を製造



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

	重要課題	取組内容	目標・KPI
1	持続可能な水産資源の調達	MSC認証の取得	2025年12月までに取得する
2	環境経営の実施	廃棄物を再利用するための体制の維持	受入した廃棄物の全てを有機肥料の製造に繋げる

社会・地域

当社は、持続可能な世界を目指し、社会からの期待に応え、企業市民としての責任を果たすために、人権を尊重し、どなたでも安心して働ける環境をつくとともに、事業を通じた社会への還元を行っています。

また、地元人材の積極採用や地域への各種協賛・ボランティア活動を通じて、持続可能な地域社会の発展に貢献してまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取組み】

- ・障害者雇用、外国人雇用
- ・地域神社への定期的な寄付・奉納等
- ・地元農協と連携した牛乳廃棄削減への取組み
- ・幼稚園への全室分のエアコンの寄付



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

	重要課題	取組内容	目標・KPI
1	ダイバーシティの推進	働きがい向上のための福利厚生充実	・社員旅行を年一回実施する ・社員表彰制度を継続する
		柔軟な労務環境の提供	・再雇用制度（定年延長）を継続する ・柔軟な勤務体制（傷病時等）を継続する
		多様な人材の受け入れ	2024年5月期から外国人技能実習生を毎年3名採用する

経済・ガバナンス

当社は、経営の客観性・透明性を高め、コンプライアンス体制の強化・充実を推進することを通じて、企業価値の向上を目指します。

【SDGs達成に向けた具体的な取組み】

- ・社内外への経営情報の開示
- ・個人情報保護の徹底
- ・ISO22000の取得
- ・ハラル認証の取得



【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

	重要課題	取組内容	目標・KPI
1	安心・安全な食の提供	養殖業向け高品質飼料の安定供給	2030年5月期までに売上高を20%増加させる
		人々の健康価値向上に資する製品の提供	2030年5月期までに総売上高に占める医薬品原料の売上高の割合を10%向上させる
		製造品質の維持・向上のためのデータ蓄積・分析体制の強化	手入力等アナログ対応のものをITツール導入等により順次デジタル化していく

